

# 平成24年度の獣害対策への取り組み

2～3ページのシロモチくんとゴーちゃんが語る津市政⑦「津市の獣害対策は？」に関連して、平成24年度の取り組みを詳しく紹介します。

## 個体数の調整

当初予算額21,800千円+  
12月補正予算額9,900千円

- 捕獲単価を設定し、猟友会への委託により野生鳥獣の駆除を推進
- 特にイノシシの捕獲数の増加を図るため、これまで定額で補助してきたイノシシの捕獲について、サルやシカと同様に捕獲単価(1頭当たり5,000円)を設定し、個体数調整を促進
- 有害鳥獣捕獲頭数(頭)

獣種	平成24年10月末	平成24年度見込み
オスジカ	590	1,700
メスジカ	381	1,200
サル	68	140
イノシシ	442	1,100

## 防護柵の設置

予算額15,490千円

- 営農組合や自治会などが行う電気柵等の防護柵の設置材料費の2分の1を補助
- 延長292kmの防護柵を設置(平成19～24年度(見込み))

## 地域ぐるみの取り組み

予算額2,443千円

- 地域ぐるみで獣害対策に取り組む8地域(片田、八幡、赤坂、穴倉、桂畑、上ノ村、上稲葉、向居・山出)の獣害対策協議会の活動を支援(活動費の2分の1を補助)

- 協議会が行う研修会、座談会、追い払い活動などに市職員が参加し、助言・指導
- 平成24年1月に設置された「津市広域獣害対策連絡協議会」が取り組む、合同研修会の開催や一斉追い払い、防護柵の相互点検の実施等の広域連携活動を支援・推進

## 先進的獣害対策の導入推進

予算額2,300千円

- モデル地区を選定し、獣がすみにくい環境づくりのための「大規模緩衝帯」や、シカの一斉捕獲に効果のある「ドロップネット」などの先進的獣害対策(技術)の実証実験を実施

## 捕獲檻・器具の購入費等

予算額4,656千円

- 捕獲檻・追い払い器具の購入、わな猟免許取得費用の補助(2分の1補助)など

## 追い払い隊の配置

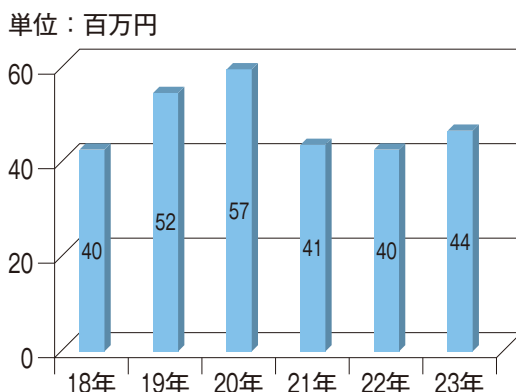
9月補正予算額4,132千円

- 市街地に出没するサルなどに対応し、追い払いやパトロールを行う「追い払い隊」として、2人の非常勤職員を緊急雇用



## グラフで見る野生鳥獣被害金額・シカの生息数の変化(平成18～23年)

津市における野生鳥獣被害金額の推移



津市におけるシカの生息数の変化

